

令和3年度 さつま町立 中津川小学校 学校経営グランドデザイン

学校教育目標

自ら学び行動できる 心豊かで たくましい なかっ子を育成する

めざす子どもの姿

あかるく《知》	やさしく《徳》	たくましく《体》
よく考え進んで表現する子ども 話をよく聞きはきはき発表する子ども 計画的に粘り強く学習する子ども	進んでほかほか言葉を使う子ども 進んで心をこめてあいさつする子ども 感謝の気持ちで活動できる子ども	健康や安全に気をつける子ども 最後までがんばりぬく子ども 正しい生活習慣を保てる子ども
定着率85%以上	いじめ・不登校0	事故0
《キャッチフレーズ》	ほかほか言葉, どんどん・はきはき! 中津川小学校	
《合言葉》	間違ってもよい 自分の力を 思い切って出し切ろう	
《学校自慢》	花と読書に親しみ, ふるさとに学ぶ なかっ子	

めざす学校の姿

楽しい学校

- 笑顔で会話が弾み, 一人一人が主役となって活躍できる学校
 - 喜んで登校 満足して下校
- 子ども一人一人が意欲をもって, 自ら目標に挑戦できる学校
 - 毎日挑戦 毎日発見
- 子ども一人一人が学ぶ楽しさ, 自身を高める意識を保って前進しようとする学校
 - わかる できる喜びをみんなが体感
- 整然として, 季節の花が咲き, 緑に囲まれた, 心休まる学校
 - 校庭の花や鳥も遊ぶ子どもも みんなが元気
- 地域に根ざした特色ある教育活動が積極的に展開される, 開かれた信頼される学校
 - 躍動する学校, 訪れたい学校

めざす教師の姿

伸ばす教師

- プロの教師・専門職としての自覚の下, 研鑽に努める教師
- 「教学一如」自らも学び続け, 教育の成果を子どもの姿で語る教師
- 子どもと夢を語り, 一人一人のよさや可能性を見出し, 個性を伸ばし夢を育む教師
- 職責感を保ち, 校務を主体的に行う教師
- 家庭・地域連携と連携し, 共に歩む教師

【学校共通目標】

- ◎ 相手の気持ちをくみ, 正しく接する子ども
- ◎ 何事にも勇気をもって挑戦できる子ども
- ◎ 進んで明るくあいさつ・返事・対応できる子ども
- ◎ 最後まで粘り強く行い, よりよさを考える子ども
- ◎ 他人の話を正対して最後まで聞ける子ども
- ◎ 場に応じて正しく活動できる子ども

本年度の重点課題

- 個を大切にせる教育環境の構築 <人権教育・特別支援教育の充実>
 - ・ 人権を重んじた視点にたつ, 個々の児童の心に寄り添う教育環境の構築
 - ・ 個に徹する教育活動の実施
- 基本的生活習慣の確立 <いじめ・不登校0>
 - ・ 「早寝・早起き・朝ごはん」「笑顔であいさつ・お手伝い」の習慣化
 - ・ 一事徹底 (返事・あいさつ)「当たり前のことが 当たり前にできる」
- 基礎学力の向上 <定着率85%以上>
 - ・ 分かる授業 (問題解決学習) の実践と学習のしつけの徹底
 - ・ 「読み・書き・計算力」の向上と表現力の育成, 家庭が学習, 読書の習慣化
- 健康・安全の意識の高揚, 体力・気力の向上 <事故0>
 - ・ 一校一運動 (一輪車・竹馬・縄跳び) と「チャレンジかごしま」の推進, 体力づくりや外遊びの奨励
 - ・ 安全指導の徹底, 危険予知能力の育成 (毎月のKYTの実施)
- 特色ある学校づくりの推進 <個々の活躍がキラリと輝く学校>
 - ・ 個のよさが光り, 個が目標を明確にして活動できる教育環境の構築
 - ・ 郷土のよさを活用・継承する活動や様々な体験活動の推進と積極的な広報
- 小・小, 小・中交流, 地域交流活動等の推進 <郷土の“よさ”を生かした教育環境の構築>
 - ・ 中学校への円滑なつながりを行える他校との交流活動, 合同職員研修の実施
 - ・ 地域の特性を鑑みた家庭・地域との連携のとれた教育活動の深化の追究

児童数37名 (男子15名 女子22名) <P戸数25戸> 職員数13名<県費9名, 町費4名>